



東大阪市・野田市長と、政策要望意見交換会を開催

平成28年8月19日、市長をはじめとする東大阪市理事者の皆様と、石川参議院議員をはじめ、**山下浩昭府議会議員**・東大阪公明党市議会議員団で、「平成29年度 国及び、大阪府に対する主な要望事項」として、

1. 2019年ラグビーワールドカップ(W杯)日本大会の開催都市に選ばれた東大阪市における大会事業の運営や施設整備
2. 大阪モノレール南伸の早期開業
3. 急傾斜地の土砂対策の早期実施

など16項目にわたる要望をいただき、様々な意見交換を行いました。これからも、国・府・市の公明党議員のネットワーク力で、「笑顔あふれ、躍動する大阪・東大阪」実現の為、全力で働いて参ります。



▲東大阪役所にて

岩手県の復興への取組みを視察

9月1日・2日、岩手県釜石市、大船渡市などを視察。大槌町では、平野町長と懇談、震災当時の状況や復興への取組み、今後の課題などをお聞きしました。今後とも、復興支援を続けると共に、大阪府における防災・減災対策に取り組んで参ります!



▲大槌町役場にて

パラリンピック出場者壮行会に参加

8月9日、大阪府庁・正庁の間にて、大阪在住のリオ・パラリンピック出場選手の壮行会が行われました。9月19日、大会は無事閉会し、2020年東京五輪へ向けスタートしました。勇気と感動をくれた選手たちに感謝の思いです。これからも、大阪のスポーツ振興に取り組んで参ります!



▲府庁正庁の間にて

9月度 府民文化常任委員会より



▲委員会にて

10月12日、府民文化常任委員会において、**山下浩昭府議会議員**は、下記の質問を行いました。

1. 万博記念公園の施設の維持管理について
2. 文化施策の推進について
3. スポーツツーリズムの推進について
4. 観光案内機能の充実、強化に向けた取組みについて
5. 大阪府国際交流財団の事業について

これからも、引き続き、しっかりと議論して参ります!



府営住宅の単身世帯の入居者死亡後の家財放置対策が進展

東大阪市で府営住宅に住む単身入居者の死亡後に、家財道具が放置され、住宅の返還がなかなか進まない問題について、**山下浩昭府議会議員**の議会質問がきっかけとなり、家財道具が撤去された。

これと連動して府が和歌山県と共同で国に対して行った「公営住宅の単身入居者死亡に係る住宅返還に関する要望」を受け、全国の都道府県、市町村を対象にした国土交通省のアンケート調査が8月から始まった。

公営住宅に占める高齢単身世帯の割合が全国的に高まる中、入居者死亡後の相続人探しや家財の処理に悩む自治体にとって、今後の展開が注目されています。これは、長年、家財道具が放置されている事に、不安を感じていた近隣の住民からの声を行政に届けた結果、進展したものであります。

これからも「ひとりの人を大切に」、皆様の声を”カタチ”にする政治を目指し、全力で働いて参ります!



▶家財道具が放置されていた住宅



▶家財道具が撤去された住宅